



# 若竹だよい



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### スポーツの秋

園長 宮竹 恒

秋になり、スポーツや読書、芸術等、様々なことに取り組みやすい季節になりました。

「〇〇の秋」とよく言われますが、学園の子どもたちにとっては、「スポーツの秋」が一番のようです。週末になると、香川県総合運動公園に出掛けるのを楽しみにしています。サッカー等の球技もしますが、中には一輪車に挑戦している子どももいます。子どもたちにとっては広い場所で伸び伸びと過ごせることも良い様子です。

さて、子どもたちの外遊びの大切な道具として、フットサル用のサッカーゴールがあります。園庭にサッカーゴールが無かった為、最近、購入した物です。組み立て式ですので外出時も重宝しています。

ゴールは、子どもたちの生活にも変化をもたらしました。学園では、学校の部活動は無いのですが、子どもたちがサッカーに取り組む様子を見ていると自主的に始めた部活動のようです。職員も参加し、熱心に体を動かしていますが子ども達だけで行うこともあります。子どもたちは、登校前の時間、休憩時間、放課後、時間を見つければ自分たちで準備を始めます。お互いに声を掛け合い、ゴールの片付けをする姿を見ていると、素晴らしいなと思います。スポーツを通して、心と体が健全に成長することを願っています。ー了ー

## 火の用心！防災訓練

10月は、学園の消防用設備を管理してくれている丸井工務店の指導のもと、総合訓練を行いました。

まずは、火災が発生したことを想定した防災訓練を行いました。実際に消火器を使用して消火活動を練習しました。



次に、子どもが登校中に、厨房から火災が発生した想定で、通報訓練・避難訓練をしました。敷地内にある分級なので、登校している子ども、また登校していない子どもが学園に居ます。職員の人数は夜間に比べて多いのですが、子どもの行動範囲が広がるので子どもを無事避難させることの難しさに改めて感じました。

もしもの時に冷静に対応できるように、日頃から避難経路や手順の確認をしておくことが大切だと改めて感じました。

御寄付ありがとうございます

若草×“服のチカラ”プロジェクト様  
衣類 沢山

# 青峰・若竹学級だより 10月

10月に入り、朝晩は肌寒く、秋の気配が一段と強くなってきましたが、こどもたちは五色台の自然の中で元気に過ごしています。今月号は「いろんな秋見つけた」をテーマに青峰・若竹学級の活動を紹介します。



## スポーツテスト

1学期に実施できなかったスポーツテストを、気候の良いこの時季に実施しました。全員昨年より記録を伸ばそうと頑張っていました。

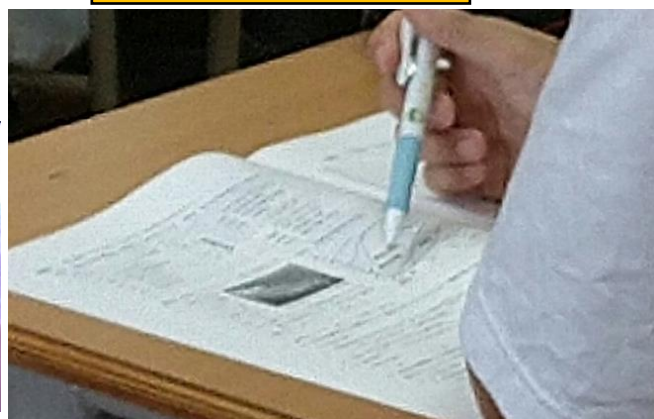


## 原籍校との連絡会

10月9日には、小6・中3生の原籍校の先生方に若竹学園にお越しただいて、原籍校との連絡会を開催しました。進路に向けての話し合いと生徒児童との面談を実施しました。

## 試験風景

## 家庭科の実習



秋はやっぱり学習の秋。中3生は2学期中間試験が終わるとすぐに第3回学習の診断がありました。連続してある試験に疲れながらも、前向きに試験に臨んでいました。診断テストの結果を参考にして、進路懇談も実施され、一人一人が自分の進路と向き合っています。また、技能教科の実習としてペットボトルホルダーを作製しました。小学生も各自学習に頑張っています。算数の「比」の発展学習として実施した「シャボン玉づくり」は大いに盛り上がりました。学習意欲が高まるように先生方も工夫しています。



笑顔がこぼれていました。

みんなで美味しくいただきました。



厨房職員から誕生日ケーキを提供できたらと？と声が挙がりました。今まで、子どもに好きなメニューを聞いて誕生日の夕食に提供していましたが、ケーキは提供できていませんでした。

早速10月のお誕生日の子どもから黄桃・バナナのケーキとリクエストがありケーキを、子どもたちと一緒にスポンジから手作りしました。



初めての🍷おきに挑戦!



スポンジから作りは始めてなので、泡立てに悪戦苦闘。最後はやはりハンドミキサーの登場です。デコレーションも小学生中心で行いましたがカラフルでとてもかわいい美味しそうなケーキができました。



厨房の職員が、中学2年生4人を対象に、包丁の使い方について指導をしてくれました。

今日の課題は、おやつに提供するリンゴ剥きです。1人は、自宅でも包丁を使用していたようで、戸惑いながらも包丁を上手に使用できていました。3人は、どうも初めての様子で、真剣な顔つきで体全体に力が入っていました。何個も剥いている間に少しずつ上手になっていきました。

継続は力なり、今後も挑戦していきましょう。りんごはもちろんおやつで美味しくいただきました。ご馳走様でした。



夕食時に、みんなから定番のハッピーバースデーの歌が提供され、ろうソクを消しました。恥ずかしそうにしていたが顔からは

## 若竹農園スタート

今月から、ロックガーデンを利用して、若農園作りが始まりました。

ロックガーデン以外でも検討しましたが、子どもたちの遊ぶスペースをこれ以上減らすわけにもいかず、なくなるところに決めました。それでも鬼ごっこをよくする子どもから苦情が挙がり、下の写真のとおり石で決められた場所でのスタートになりました。



まず、最初のステップとして、土を耕すところから始めています。ロックガーデンと言うだけあり、大きな石が多く、柔らかい土にするのは大変でしたが手伝ってくれた子どもたちのおかげでかなり農園に向けた環境作りが進みました。



子どもからの提案で農園までの階段も子どもたちで作ってくれました。



これから、季節によって様々な野菜やお花などを育て、子どもたちが季節の変化を感じられる空間になればいいと考えています。

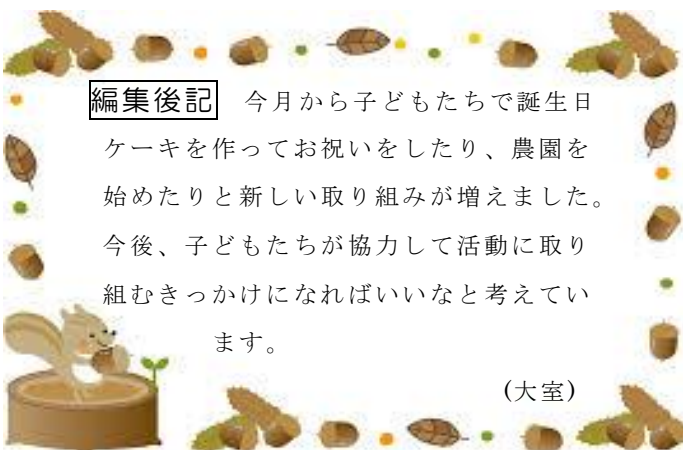
## 10月行事

17日・18日	誕生日ケーキづくり
20日	消防訓練(消火)
23日	包丁使い方勉強会
13日 22日 28日	10月の買物外出
毎週水曜日	日本舞踊指導 遍路小屋奉仕活動 (清掃:職員)

### 在籍人数

令和2年11月1日現在

区 分		県内 (人)	県外	合計
			(人)	(人)
男 子	小学生	6	2	8
	中学生	8	1	9
	計	14	3	17
女 子	小学生	4	0	4
	中学生	3	2	5
	計	7	2	9
合計		21	5	26



**編集後記** 今月から子どもたちで誕生日ケーキを作ってお祝いをしたり、農園を始めたりと新しい取り組みが増えました。今後、子どもたちが協力して活動に取り組むきっかけになればいいと考えています。

(大室)

### 第319発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

